

講演会のお知らせ

「児童精神科医と虐待被害児の自立支援について語ろう」

(日時) 7月11日 18時から20時30分

(講師) 小野善郎先生 (和歌山県精神保健福祉センター所長・児童精神科医)

金井剛先生 (横浜市こども青少年局部長・児童精神科医)

(会場) 良順会館 ボードウィンホール (定員 236名)

(参加資格) 児童虐待に関心のある方ならどなたでも参加できます。

精神科医、小児科医 (虐待対応をする機会がある) 看護師など医療関係者、福祉関係者、医学生、看護学生、虐待被害児の支援に関わっている方の参加をお待ちしています。

(参加費) **無料** (事前申し込み不要です。当日会場にいらしてください。)

進行

小野先生講演 45分間

金井先生講演 45分間

講師2名による討論 30分

会場からの質疑 30分

児童虐待被害は、虐待環境から抜け出した後も、生活、学習、社会適応、対人関係に二次的な障害を生じやすいことはよく知られています。しかし、高校中退後、あるいは卒業後は国の支援がなくなります。日本の多くの若者は20代になっても親の支援や保護のもとで生活していることを考えると、頼る大人やモデルとなる大人が身近にいないまま社会に適応してストレスを乗り越えていくことは本当に大変なことです。外見からは、彼らの心の傷は見えませんし、脳に生じた変化もわかりません。10代から20代の児童虐待被害者を支援している組織あるいは養育している里親たちは、継続的で包括的な支援に必要性を痛感しています。この問題を昨年国際シンポジウムに引きつづき考えていきたいと本講演会を企画しました。企画責任者：花田裕子

共催 長崎大学医学部保健学科

長崎大学医学部精神神経科

問い合わせ：長崎大学 花田裕子 tel/fax819-7944 hhanada@nagasaki-u.ac.jp